

氏名： 秋山 光文  
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系  
職名： 教授  
学位： 文学修士 (1974),M.A.(Art History)  
専門分野： 東洋美術史（とりわけ南アジアを中心とした仏教美術史）  
History of Asian Art,(esp. History of South Asian Buddhist Art)  
E-mail： akiyama.terufumi@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

インド美術史／仏教美術史  
History of South Asian Art / History of Buddhist Art

#### ◆主要業績

・報告書『美術に即した文化的・国家的自己同一性の追求・形成の研究？全アジアから全世界へ』（平成 19?23 年度科学研究費補助金基盤研究 (S) 研究代表者：小川裕充）

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

インドを淵源とする仏教美術のなかでも、仏伝や本生話など仏教説話を主題とする作例について、インドを中心とした南アジアはもとより、中央アジア・東アジア・東南アジアなど広く仏教文化圏の作例に基づいて、編年的、地域的、思想的な諸要素を経典や歴史書などの史料をもとに、説話図像の成立や展開のプロセスを解明している。

本研究の成果を集積することにより、これまでに解明されている経典の伝播ルートに加え仏教文化圏における思想的変遷の推移を図像的变化の過程とともに裏付けることが可能となる。

即ち、インドで発生した仏教美術、とりわけ仏教説話図や仏教尊像の図像が周辺地域に伝播し受容されていく過程で、如何に継承され変容を遂げていくのかを主な研究課題としている。

これまでに科研を2回獲得したが、今後の方針としてこれまでの成果をもとにインド本土での説話図受容のあり方をもとにして、そのほかの地域での変容を解明していくことにしている。

The main aim of my recent study is to focus the phases of variations and iconographic changes in the Buddhist narrative art among the Asian Buddhist countries, ie. India, Gandhara, the Central Asia, China, the East Asia and the South-East Asia. I have already done cite research in India, including Sanchi, Ajanta caves, Mathura, Amaravati, as well as the South-Eastern Asian countries, ie. Myanmar, Thailand and Indonesia.

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

講義科目では、「インド仏教美術における説話図の成立と展開」をテーマとして、仏教説話を収録する経典（パーリ語、サンスクリット語、漢訳）の特質、成立時期を解説するとともに、本生話、仏伝の中から主要な十六話を選び、経典の違いによる内容の変化を捉え、現存する作例を地域や時代ごとに紹介しつつ、図像の変化と出典となる経典との相関を考察した。

演習科目では、上原和著『玉虫厨子の研究』を底本に、同作品を構成する絵画・彫刻・建築の要素について、古代人仏教美術の成立過程を、先行研究を渉猟しながら検証した。

Main theme of the lecture is "The Buddhist narrative and art".

## ◆研究計画

古代インドを淵源とする仏教美術がアジア各地で如何に受容され変質を遂げたかを、それぞれの地域における国家意識の変化とともに実証する。とりわけ、各地で広く受用され多くの作例の残る仏教説話を主題とする作例を通じ、典拠となる経典の差異やそれぞれの地域における倫理観や宗教観の違いによる図像の違いを明らかにしていく。そのことから、わが国にもたらされた仏教文化が、いかなるルートを経由したのかを解明していくことが可能となる。

## ◆メッセージ

あらゆる事象を他から与えられる情報のみによって判断するのではなく、自ら確認することによって実証する姿勢を身につけましょう。溢れるばかりの情報に取り巻かれて生活する現代の我々にとって、真実とは何か、真理とは何かということを常に問いかけることが求められています。このために、現地に赴いて多くの資料を収集し、自らの手で分析しながら問題点を抽出するとともに、疑問を解決するということを習慣づけて欲しいと思います。